コロンビアのOECD加盟

―― 日本にとっての新たなチャンス ――

コロンビア投資貿易観光振興機構（PROCOLOMBIA）

2018年５月、コロンビアの経済協力開発機構（OECD）加盟が承認された。それにより、日本・コロンビア間の投資と貿易に新たな扉が開かれる。

優れた政策、強い信頼と投資を伴う経済、そして国際社会における卓越した地位と影響力をもつコロンビア。ラテンアメリカで第４位の経済規模を誇り、もっともビジネスがしやすい同国[注1]が、同地域ではメキシコ、チリに次いでOECDの仲間入りを果たすことになる。

コロンビアのOECD加盟承認は、社会・経済改革の道のりに長い年月を費やしてきた同国の国民のみならず、これまでコロンビアと深い関わり合いがなかった国々にとっても大きなニュースとなった。透明性、経済力、競争力の向上のためにコロンビア政府が実施してきた具体的政策が、同国のビジネス環境と貿易の競争力を底上げしてきたことはいうまでもない。

ガブリエル・ドゥケ駐日コロンビア大使は、「和平構築、治安改善、保健、教育、雇用、貧困の減少と平等、そして継続したキャパシティ・ビルディングが、コロンビアのOECDへの加盟承認における重要な要素となった。また、わが国は政治体制の強化や入念に練られた公共・マクロ経済政策により、大きな成果をあげてきた。コロンビア政府はOECDへの加盟プロセスにおける恒常的な日本の支援に感謝している」と述べている。

コロンビアは、OECDの要請に従い、自由競争への権利を国際基準に保つために2009年に競争法（Law 1340）を採択した。

首都ボゴタ

さらに、加盟国に進出する外国企業の待遇と義務に関するOECDの規則に基づき、多国籍企業行動指針各国連絡窓口（NCP）を設置し、責任ある企業行動に関する指針の普及と促進に努めている。

加えて、OECDは経済成長を下支えする戦略として、自然資産がわれわれの豊かな生活に欠かせない資源や環境サービスを提供することを保証する「グリーン成長」を掲げているが、コロンビアは今後ますます環境に配慮した製品を作り出すことで、新たな消費者を獲得することを目標としている。

OECDへの加盟が承認された今、コロンビアへの新たな投資機会が増えている。たとえば、OECD加盟国のプロジェクトのみが対象と明言しているプライベート・エクイティ・ファンドの投資などが見込めるようになる。また、イバン・ドゥケ新大統領があらゆる場面で言及しているクリエイティブ産業または文化産業への投資機会もあり、音楽、映画、出版、写真、広告やテレビゲームといった産業の経営者は「グッド・プラクティス・クラブ」であるOECDへの仲間入りが自社の生産活動にとっての起爆剤となると考えている。今やクリエイティブ産業は、国内総生産（GDP）の約3.3%を占めているほか、110万人の雇用を生み出しており、コーヒーや鉱業セクターを凌駕している[注2]。

現代の多様性に富んだ経済におけるコロンビアのこれらの躍進について、森下敬一郎駐コロンビア日本国大使は去る７月30日に、「これは政府が、優れたマクロ経済政策、特に、厳しい国際情勢にも耐える財政政策打ち出してきた結果である。また、貧困などの社会的優先事項にも真摯に取り組んできたことも評価に値する。その結果、格付機関からは投資適格国の評価を得ている」と述べているほか、日本・コロンビア二重課税防止条約の実質合意についても賞賛した。

輸出については、OECDの要請に基づき品質管理システムを再構築したことにより、グローバル基準に沿ったコロンビア製品が今後ますます承認されることが見込まれている。

もっとも成長が見込まれる分野として観光の存在も忘れてはならない。国連世界観光機関（UNWTO）によると、2017年の国際観光客到着数は、世界全体で前年比７%増の13億2200万人に達した。一方、コロンビアへの渡航者数は前年比28%増の650万人にのぼり、世界平均の４倍、米州の９倍以上の増加率であった。１平方キロメートルの生物多様性が世界でもっとも豊かなコロンビアへの渡航は、今後ますます増加することが期待される。

OECDの目標「よりよい暮らしのためのよりよい政策」は、コロンビアではすでに現実のものとなっており、コロンビアが日本にとって新たなチャンスに満ちあふれた国であるということも現実のものとなっている。

注１：Doing Business 2018
注２：コロンビア情報通信技術省

JOI特別会員
コロンビア投資貿易観光振興機構（PROCOLOMBIA）

PROCOLOMBIAは、コロンビアへの投資、コロンビアからの輸出、およびコロンビアへの観光を促進する政府機関で、世界32カ国にある拠点から各分野に関するさまざまな情報を発信しております。

日本事務所はコロンビア大使館通商部の一部として、コロンビア・日本間のビジネスや貿易の活性化を目的とし、日本企業の皆様からのご照会に個別に応じているほか、セミナーや講演会を随時開催しています。

PROCOLOMBIA日本事務所へのお問い合わせは、代表の和合または投資アドバイザーの中園まで。

代表　和合 ヒロシ
hwago@procolombia.co
投資アドバイザー　中園 竜之介
rnakazono@procolombia.co
TEL: 03-5575-5970
FAX: 03-5575-5972

PROCOLOMBIA
輸出 観光 投資 ブランディング戦略